

「自殺対策に関する意識調査」について

I. 調査概要

調査時期：平成 20 年 2 月 21 日～ 3 月 9 日

調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人(有効回収数:1,808 人、回収率:60.3%)

調査方法：調査員による留置法（封筒による密封回収）

調査項目：1 メディアについて
2 悩みやストレスに関することについて
3 自殺やうつに関する意識について
4 自殺予防等に関するボランティア活動について

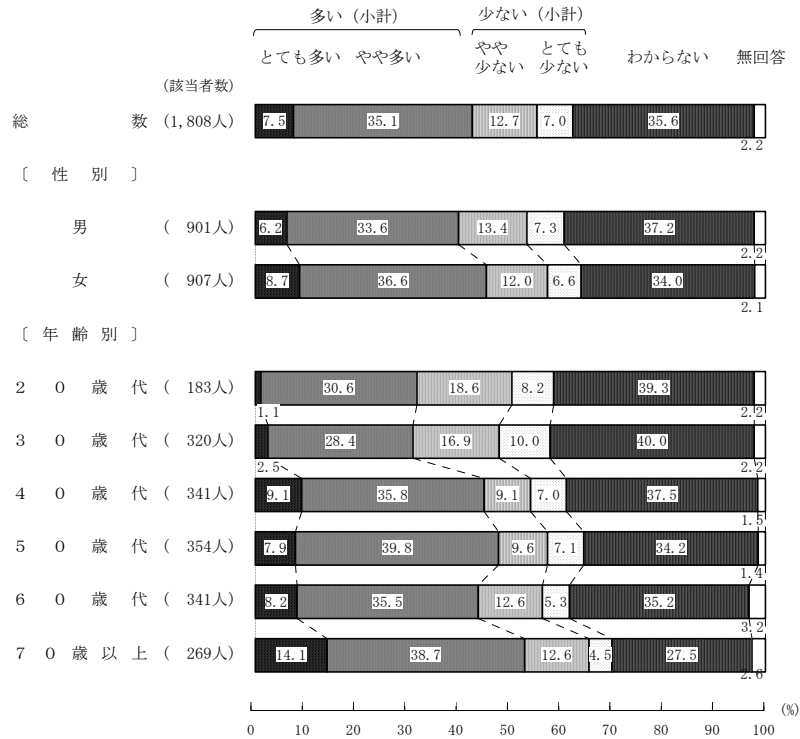
調査内容の決定等：

内閣府で「自殺対策に関する意識調査検討会議」を開催し、専門家の意見を聞き、調査内容や調査方法等を決定

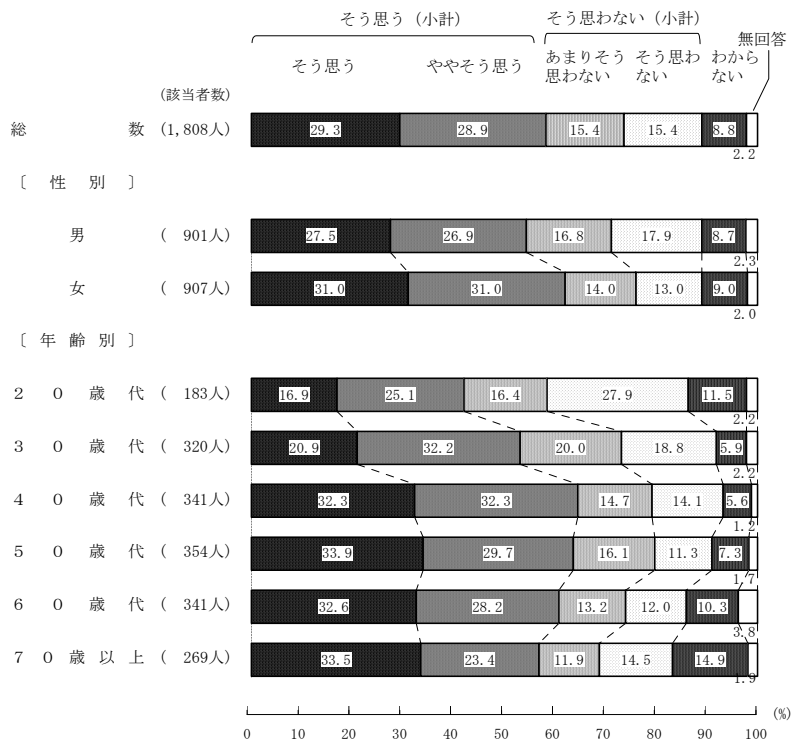
II. 主な結果

1. メディアについて

(1) テレビドラマや映画に自殺シーンが「多いと思う」が4割強

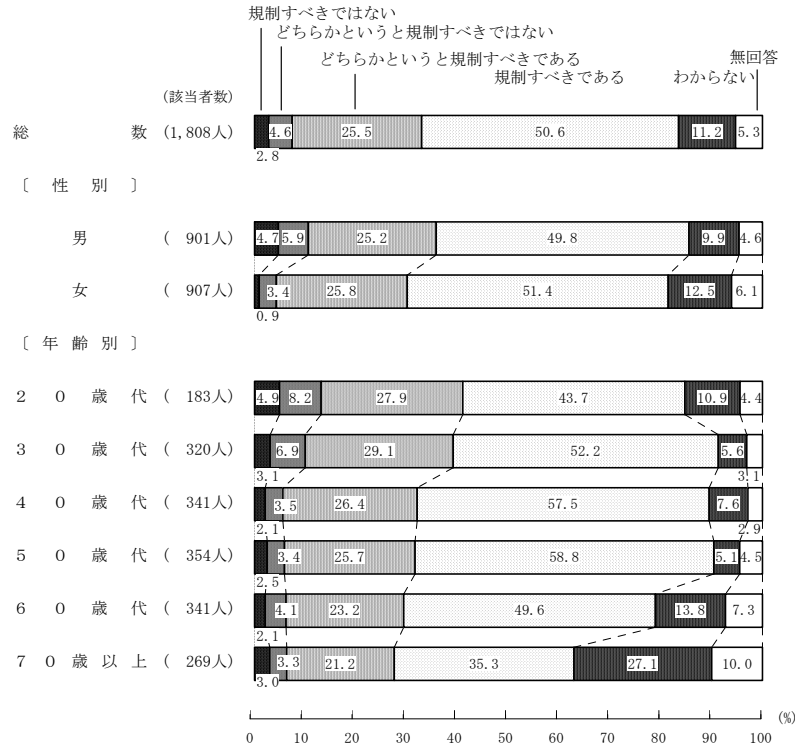


(2) 自殺シーンを美化して描くことは「自殺をうながすと思う」が6割弱

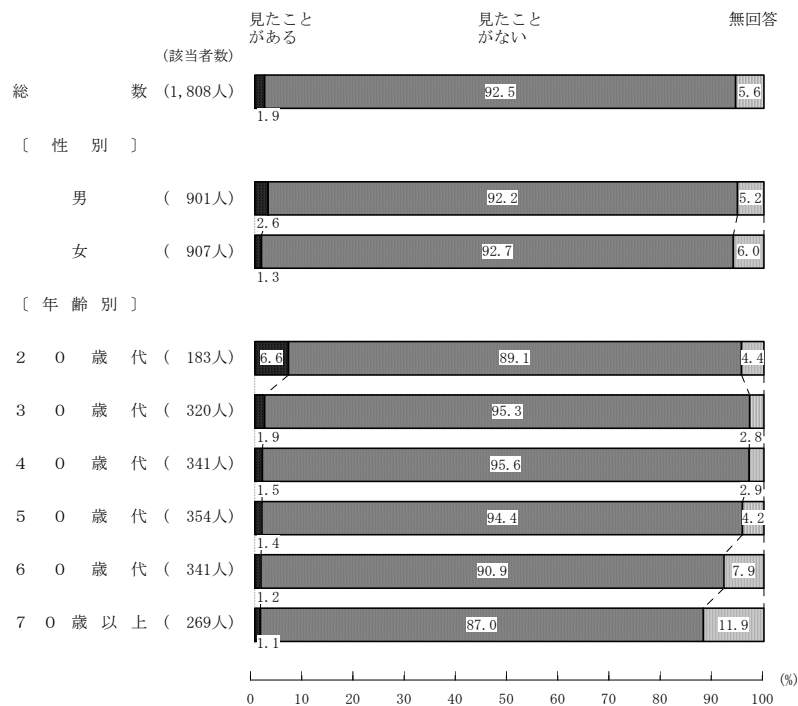


(3) 自殺サイトを「規制すべき」が4人に3人

- ・規制すべき（小計）…………… 76.1%
 - ア) 規制すべきである…………… 50.6%
 - イ) どちらかという規制すべきである…………… 25.5%
- ・規制すべきでない（小計）…………… 7.4%
- ・わからない・無回答…………… 16.5%

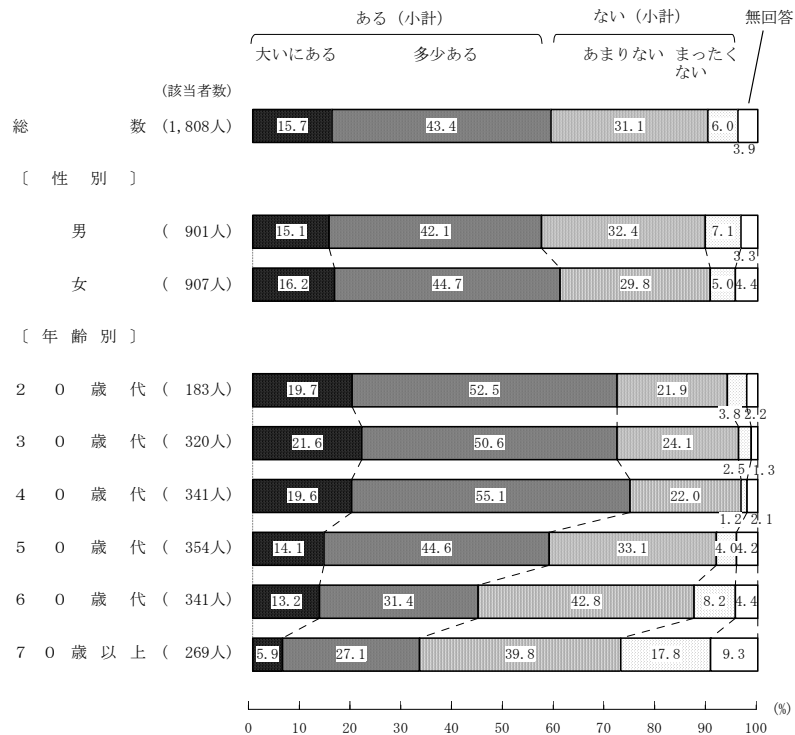


(4) 自殺サイトを「見たことがある」は全体の1.9%

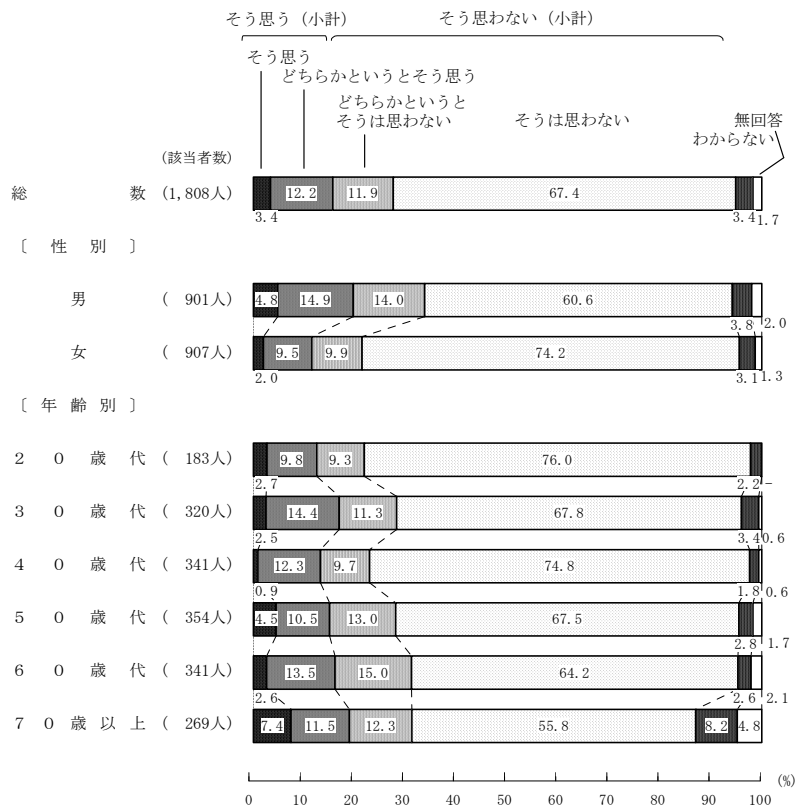


2. 悩みやストレスに関すること

(1) 最近1ヶ月間にストレス等が「ある」が約6割弱

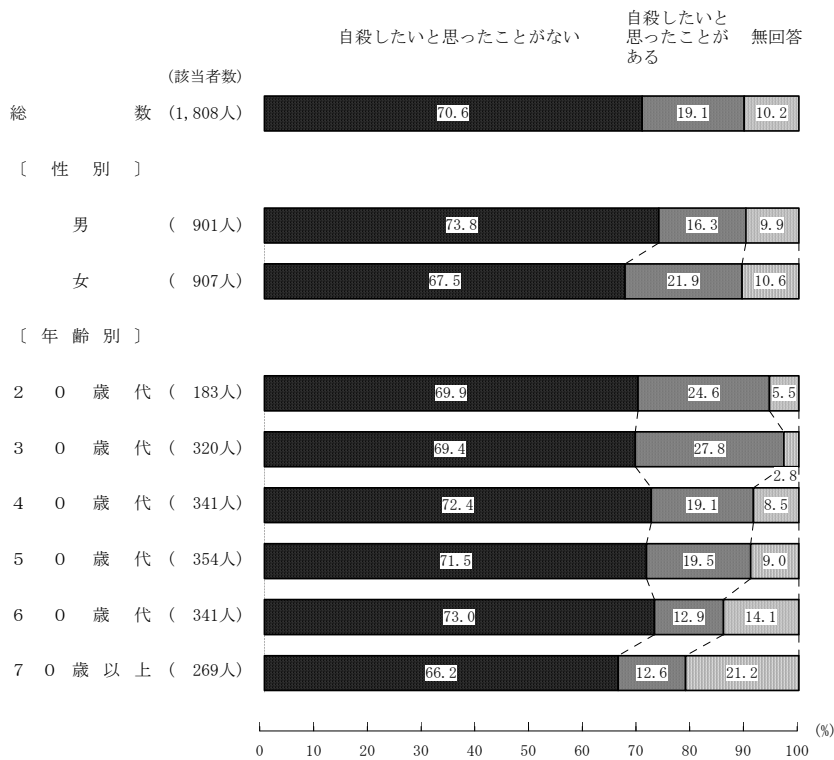


(2) 悩みを抱えたときやストレスを感じたときに誰かに相談したり、助けを求めたりすることが恥ずかしいことかは「そう思わない」が8割弱

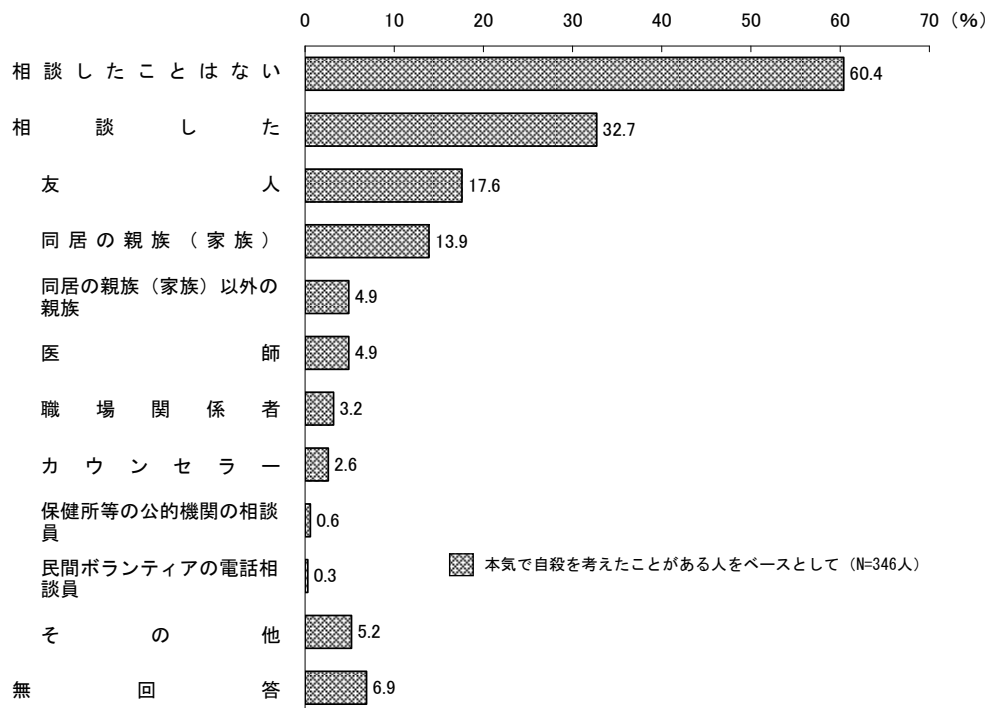


3. 自殺やうつに関する意識について

(1) 今までに本気で自殺を考えたことが「ある」が2割弱

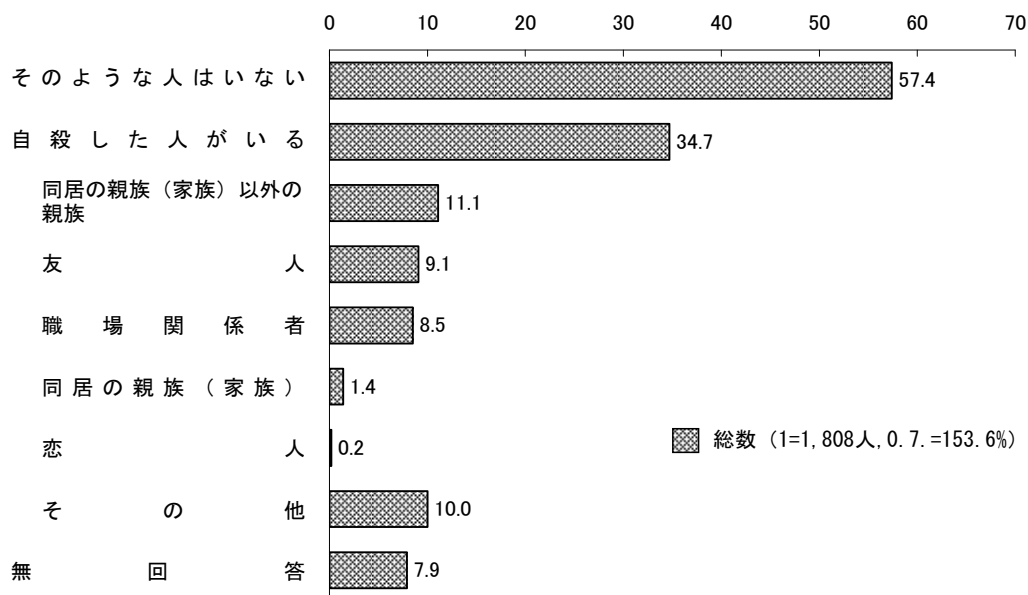


(2) 自殺を考えたことのある人のうち、自殺を考えた時に「相談したことはない」が6割強



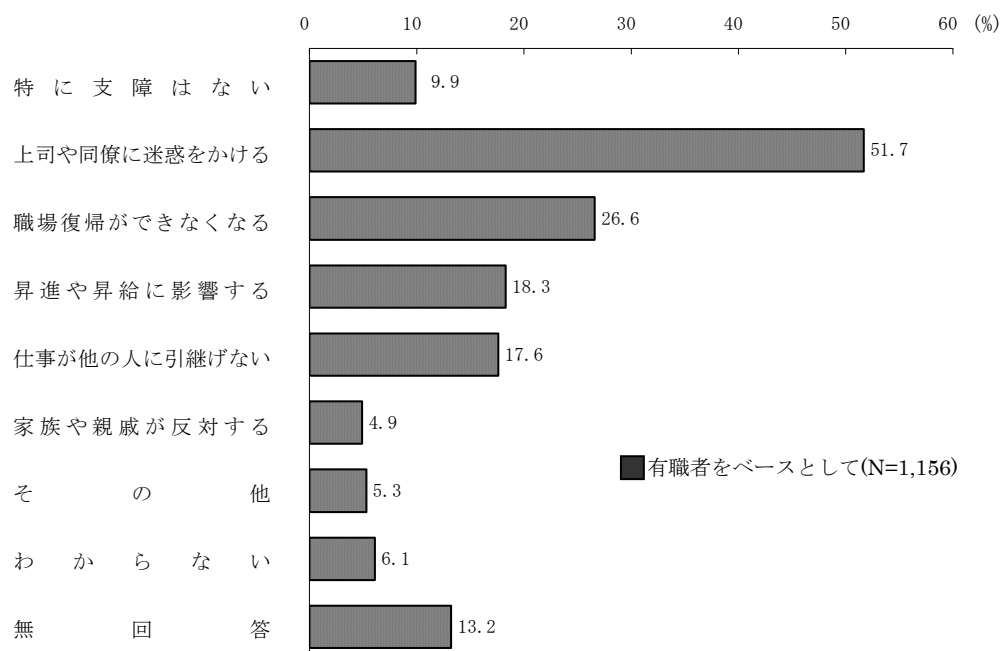
(3) 周りに自殺をした人が「いる」が3人に1人

(複数回答)



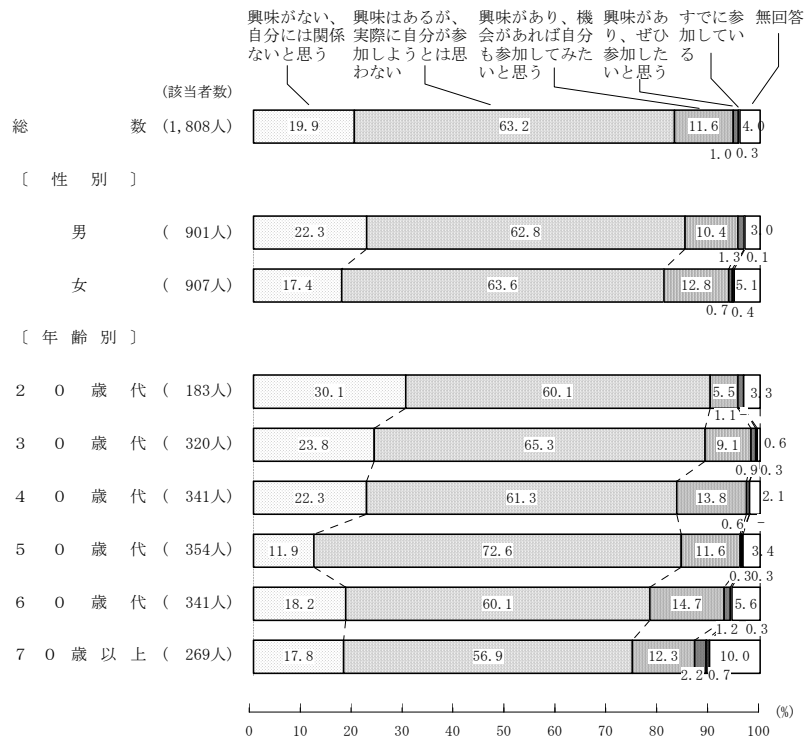
(4) 有職者のうち仮にうつで仕事を休業することに「特に支障がない」が1割弱

(複数回答)



4. 自殺予防に関するボランティア活動について

自殺予防活動に関するボランティア活動について「興味があり、是非参加したい」が1%、「興味があり、機会があれば参加してみたい」が11.6%



5 自殺したいと考えたことが「ある」と「ない」の比較

	自殺したいと考えたこと		(A)／(B)
	ある (A)	ない (B)	
自殺を扱った報道に関心が「ある」	71.4%	63.4%	1.1倍**
テレビドラマや映画に自殺シーンが「少ないと思う」	23.1%	19.7%	1.2倍
自殺シーンを美化して描くことは「自殺をうながすと思う」	59.5%	58.6%	1.0倍
自殺サイトを見たことが「ある」	3.8%	1.5%	2.5倍*
自殺サイトを「規制すべきではない」	13.9%	6.0%	2.3倍**
不満や悩みやつらい気持ちを受け止め、耳を傾けてくれる人が「いない」	11.0%	4.4%	2.5倍**
必要なとき、物質的・金銭的に援助してくれる人が「いない」	16.2%	9.5%	1.7倍**
この1ヶ月間に悩みやストレスなどが「ある」	82.9%	55.0%	1.5倍**
誰かに相談したり、助けを求めたりすることが「恥ずかしいことと思う」	23.1%	13.0%	1.7倍**
よく眠れない日が2週間以上続いた時、医療機関を「受診しない」	54.0%	42.8%	1.3倍**
生死は最終的に本人の意志に任せるべきであると「そう思う」	47.7%	34.5%	1.3倍**
自殺せずに生きていれば良いことがあると「そう思わない」	15.6%	4.2%	3.7倍**
幼い子どもを道づれに自殺するのは仕方がないと「そう思う」	10.7%	4.2%	2.5倍**
責任をとって自殺することは仕方がないと「そう思う」	14.5%	7.0%	2.1倍**
自殺は繰り返されるので、周囲の人が止めることはできないと「そう思う」	24.9%	14.7%	1.7倍**
自殺する人は、よほどつらいことがあったのだと「そう思う」	74.6%	70.3%	1.1倍
周りで自殺した人が「いる」	45.7%	33.6%	1.4倍**
自殺予防等のボランティア活動に「興味があり、参加したい」	16.8%	12.2%	1.4倍*

※ 表中の*印は全国民（母集団）に置き換えても「（ありA）」と「なし（B）」とに差がある確率が高い（有意である）ことを意味し、**は「有意確率がより高い」を、*は「有意確率が高い」ことを表している。

6. 悩みを抱えたときの主な相談先

- (1) 全国の都道府県・政令指定都市に設置されている精神保健福祉センター
- (2) 毎月 10 日の「自殺予防いのちの電話」(0120-738-556) または全国のいのちの電話
- (3) 東京自殺防止センター (03-5286-9090<20:00~6:00>)、大阪自殺防止センター (06-4395-4343<24 時間>)